

※週刊金融財政事情が記事の利用を許諾しています。

週刊金融財政事情 (2022.7.5) より

- 本年5月31日、金融財政事情研究会がWebシンポジウムを実施し、政府税調委員と若者世代の代表が、税制の現状や今後のあり方を意見交換。
- 税調委員：中里実会長、岡村忠生委員、武田洋子委員
- 若者代表：伊藤和真氏（PoliPoli代表取締役）、古井康介氏（POTETO Media代表取締役）

## 若者代表からの主な意見

- なぜ、歳出の半分程度の税収でやっていけるのか。
- 税負担はそれほど大きくないが、社会保障支出は大きいという状況はロジックとして通らないと思う。時代に合わせたいく必要があると思う。
- 今後の人生を考える上で、子育てサービスを充実して欲しいと思う一方で、これ以上の負担は困る。かといって、年金など、なにかサービスを減らせるかと考えると、どれも難しく、議論がストップしてしまう。
- 子育てや親の介護は、年収に限らない問題だと思うが、公的サービスに頼る人は、税の負担能力が高くない一方で、税の負担能力が高い人は、公的サービスに頼らなくても生きていける、というイメージ。
- 自分の周りを見ても、10年、20年、30年後にどういう社会が望ましいかは、現在の経済状況によって一人ひとり異なる。「若者」といっても、一括りにはできない。
- サービスは受けたいが、税負担は勘弁してほしいと皆思っている。国民として、しっかり議論する必要はあると思うが、税金は難しくて議論をすることが難しい。
- 税金は複雑で難しいが、本日のように話をしていると、なんとなく分かったような気になる。現状をしっかりと認識して、皆が議論することが必要。
- 議論が沸き起こるような教育が必要ではないか。これからの社会についてディベートするような機会を是非。
- 現金をほとんど持っていない時期があったが、リアルで手続きしなければいけないことが痛税感につながっているかもしれない。デジタル化が進むと、その辺りが良くなっていくかもしれない。



## 「もっと当事者意識を」、「政府税調委員が若者世代と議論

内閣府の税制調査会（政府税調）が、岸田文雄首相からの諮問を受けて「中期答申」の取りまとめに向けた議論を進めている。諮問は、「公平かつ働き方等に中立的」で、新たな時代に対応した「あるべき税制」の審議を求める内容だ。

政府税調は各界の有識者を中心とするメンバーで構成され、前回は2019年9月に答申を取りまとめた。今回は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う経済社会の変化を踏まえた初めての答申になる。すでに、「働き方の変化」「企業の成長や起業」「デジタル化が社会に与える影響」といったテーマで外部有識者からのヒアリングを実施するなど、着実に議論を積み上げていく。

将来にわたる税制の在り方を考える上で重要な要素の一つが、将来世代たる若者世代の納得感だ。国債発行残高が1000兆円を超え、財政赤字の「ツケ」が将来に先送りされる懸念が高まるなか、持続可能な社会の構築を支える税制の姿を示すことで、若者世代の不満や不安を払拭する必要がある。

しかし、日本の財政の持続性に対する漠然とした不安があっても、税制に対する若年層の関心は必ずしも高くない。こうしたなか、5月31日に開催された金融財政事情研究会主催のシンポジウム（写真）で、政府税調のメンバーから若者世代に問題意識が投げ掛けられた。若者世代の代表と意見を交わすパネルディスカッションに参加した岡

村忠生委員（京都大学法学研究科教授）は、コロナ禍において歳入が歳出の半分以上になるなど公債発行額に歯止めがかららない状況について、危機感を示しながら説明。さらに、日本は諸外国と比較して消費税を引き上げる余地が大きいことから、「将来、財政状況を好転させることができる」と外国からは思われている」と話した。

武田洋子委員（三菱総合研究所研究理事）は、社会保障支出と負担のバランスについて、諸外国と比較した日本の状況を説明しつつ、「若い世代の方々が、日本をどういう国にしていきたいかを議論する際には両面を見てほしい」と、若者代表に訴えた。政府税調の中里実会長（東



当会主催シンポジウム「税の将来について考える」の配信風景。右から、政府税調の武田委員、岡村委員、中里会長、若者世代代表として参加したPoliPoli代表の伊藤和真氏、POTETO Media社長の古井康介氏。

り方を議論するに当たっては、若年層の「当事者意識が重要」と強調する。

古代の租庸調から明治時代の地租改正、英国の名譽革命やフランス革命まで、「世界史は税金で動いている」（中里会長）。脱炭素化など将来に向けた社会課題に取り組みに当たっても、税制の役割は大きい。経済社会の姿を映し出す「税制」を巡る議論の広がりや深化が期待される。（本誌 林史哉）